

近畿の空にもオスプレイはいらない！！

JR西労主催「10.6 あいば野での日米共同訓練反対集会」に参加

米軍普天間基地に配備されているオスプレイ導入が日本本土初となる日米共同訓練が10月7日～18日にかけて、滋賀県高島市にある「あいば野演習場」で「フォレスト・ライト」という名の演習で実施されます。

JR西労は、「オスプレイ」に対しては、これまでも米軍からの米軍岩国基地への日本搬入に反対する集会や、沖縄普天間基地配属に反対する集会など、地域の労働組合や団体・個人の方たちとの連帯し戦争政策につながる動きに抗する取り組みを開催してきました。

私たち分会もそうした集会に参加し、平和な社会をつくるために共に奮闘してきました。

10月下旬には、南海トラフ地震を想定した訓練にもオスプレイを導入し自衛隊自衛艦から沖縄普天間基地まで移動する計画が進められています。その先駆けとなるあいば野での演習は、オスプレイを使用した日米合同訓練を日本全国に広げる目的があり、まさしく集団的自衛権の行使を行える国づくりへと安倍政権が画策していることがはっきりとしてきました。

私たちは、集会に参加した西労の組合員や多くの仲間と共に「戦争が出来る国」をつくる動きに警鐘をならすために奮闘していきます。

